

北マリアナ諸島海外安全対策情報
平成 29 年度第 3 四半期（10 月～12 月）

1 社会・治安情勢

内政上特に大きな問題もなく政情は安定しており、治安情勢に特段の変化は見られない。一般的に対日感情は良好である。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当事務所が新聞報道等により、把握している管轄地域内の当該四半期における犯罪種類の発生状況（件数）は、殺人（1 件）、強盗（1 件）、暴行・傷害（10 件）、性犯罪（2 件）、詐欺（0 件）、麻薬（6 件）、侵入窃盗（1 件）、窃盗（ひったくり、置き引き、車上狙い等を含む）（1 件）である。窃盗、家庭内暴力を含む傷害事件や薬物に絡む犯罪が後を絶たない。車両の盗難事件も発生しており、併せて車上荒らしの被害に遭わないよう、短時間でも車から離れる場合は車内に貴重品を置かないこと、確実に施錠することが肝要である。

最近の主な犯罪事例は次のとおり。

- 10 月中旬夜、サイパン島北部アチュガオ地区のホテルのビーチにて、アジア人女性がビーチで食事をしていた際、少年 3 人が女性に歩み寄り、1 人が「ハイタッチ」で挨拶して女性が腕を上げた際に、他の 1 人が背後から女性に近づき現金、携帯電話等が入ったかばんをひったくり逃走した。
- 10 月 29 日夜、サイパン島南部チャランカノア地区の住宅にて、家主と住人が光熱費の支払いをめぐる口論になり、住人が家主を包丁で複数回切りつけ、殺害した。被害者の配偶者も同居人に包丁で刺され、重傷を負った。
- 11 月 9 日夜、サイパン島南部コブラビル地区のガソリンスタンドにて、ナイフを持った男が女性従業員 2 人を脅し、現金 600 ドルを奪い逃走した。
- 11 月 16 日昼頃、サイパン島北部キャピタルヒル地区の店の駐車場にて、アジア人観光客が車のエンジンをかけたまま車を離れ、店に入っている間に、駐車していた車が盗まれた。犯人は防犯カメラの映像により後日逮捕された。
- 12 月 16 日深夜、サイパン島東部カグマン地区の住宅にて、男が妻と口論になり、妻をライフル銃で銃撃した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

情報には接していない。

4 誘拐・脅迫事件発生情報

情報には接していない。

5 日本企業の安全にかかわる諸問題

特になし。